

人事院における障害者活躍推進計画の実施状況について

令和5年8月
人事院

<p>評価年度</p>	<p>令和4年度</p>
<p>目標に対する 達成度</p>	<p>【採用に関する目標】 実雇用率：2.98% ※令和5年6月1日時点</p> <p>【定着に関する目標】 ・離職者はいなかった。 （参考）定着率：100% ※令和4年4月1日から令和5年3月31日までの間に採用された者の 令和5年6月1日における定着率</p> <p>【満足度に関する目標】 （満足度）満足・やや満足：83.3% ※令和5年4月1日時点で在籍している障害者に対して アンケート調査を実施</p> <p>【キャリア形成に関する目標】 障害者が担当する職務の拡大 ・従来障害者である職員を配置していなかった部署に新たに配置</p>
<p>取組内容の 実施状況</p>	<p>【障害者の活躍を推進する体制整備】 （組織面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用推進者として総括審議官を選任済。 ・総括審議官を委員長として、人事課長、総務課長、会計課長、各局筆頭課長、公務員研修所教務部長、国家公務員倫理審査会事務局首席参事官を構成員とする「人事院障害者雇用推進委員会」を設置済。 ・上記委員会の下に実務者チームを置き、障害者である職員も参画。 ・障害者職業生活相談員に、人事課能率厚生管理室長、人事課人事企画官、人事課長補佐（総括）を選任。 ・障害者である職員が配置されている課室の総括補佐等を支援担当者として

選定。

- ・令和4年7月7日に、人事院障害者雇用推進委員会（第6回）を開催。

（人材面）

- ・障害者雇用キーパーソン養成講習会に支援担当者が参加。
- ・精神・発達障害者しごとサポーター養成講座に支援担当者、障害者である職員が配置されている課室の職員等が参加。

【障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出】

- ・現在の職務の適性や職員の希望も踏まえ、新たな職務の選定や創出について検討し、従来障害者である職員を配置していなかった部署に新たに1名配置した。

【障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理】

（職務環境）

- ・中央合同庁舎第5号館別館のバリアフリー化（施設内外の手すり設置、トイレ改修）、公務員研修所のバリアフリー化（施設内に点字案内板、点字ブロック等を設置）を実施済。
- ・電子メモパッド、拡大表示ソフト（ZoomText）、音声読み上げソフト（PC-Talker）について導入済。
- ・新規に採用した障害者である職員について、定期的に面談を行い、必要な配慮等を把握し、必要な措置を講じた。

（募集・採用）

- ・採用選考に当たり、面接において就労支援者の同席を可能にしている。

（働き方改革）

- ・障害者である職員を含む全職員が自宅からのリモートアクセスを前提としたテレワークが可能となる環境を整備済。
- ・障害者である職員を含む全職員に対し、混雑時間帯を避けた通勤が可能となるよう、フレックスタイム制や早出・遅出勤務等の制度を周知済。
- ・障害者である職員からの要望に応じて過当たりの勤務時間を個別に設定。

（キャリア形成）

- ・SEABISなどの府省共通システム操作スキルの教育訓練を実施。
- ・障害者ワーク・サポート・ステーション事業の対象となる障害者とその支

	<p>援者を受け入れ、障害者の職場実習を実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・ チャレンジ雇用の非常勤職員について、支援機関も交えて定期的に面談を実施し、職務の振り返りや新たな職務の選定を行った。 <p>(その他の人事管理)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 定期的に面談を実施し、状況把握・体調配慮を行った。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「令和4年度における人事院の障害者就労施設等からの物品等の調達の推進を図るための方針」を定め、障害者就労施設等から物品等の調達を積極的に行った。
--	--